

【資料1】

親学習プログラム・思春期版家庭教育支援プログラムに関する取組状況調査

○本調査は、県立高等学校、特別支援学校における親学習プログラムの活用状況を把握し、今後の親学習プログラムを活用した家庭教育支援を効果的に展開するために実施するものです。※「親学習プログラム」についての詳細は、最下部をご覧ください。

回答する際は、今年度も含めて過去3年間の状況についてお考えください。また、回答内容の詳細について、後日改めてお聞かせいただくこともあります。なお、調査結果について資料等にまとめて公表することがあることを御承知おきください。

調査項目

※記述以外の回答については、あてはまる欄に「1」をご入力ください。

■ 問1.貴校において、保護者を対象に子どもとの関わり方について学ぶ機会が設けられていますか。

- 設けられている → 具体的に教えてください
- 設けられていない

■ 問2.貴校において、保護者を対象にした学びの機会に親学習プログラム・思春期版家庭教育支援プログラムを活用したことがありますか。

- 活用したことがある → 問3～問8へ
- 活用したことがない → 問9へ

■ 問3.活用の仕方(いつ、だれが進行役となり、どんな場面で、どのようなテーマ)について詳しく教えてください。  
※複数回実施している場合はそれぞれお書きください。

	a)いつ	b)進行役	c)どんな場面	d)どのようなテーマ
①	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その他は具体的に記入→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
②	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その他は具体的に記入→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
③	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その他は具体的に記入→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

■ 問4.プログラムを活用している中で効果を感じていることについて、あてはまるものをすべて選び、具体的な内容等あれば空欄にお書きください。

- 保護者同士のコミュニケーションが深まる
- 子育てに関する不安や悩みの軽減につながる
- 教員の保護者に対する理解が深まる
- 参加者の満足度が高い
- その他(具体的に)→

■ 問5.プログラムをさらに充実させるために必要なことについて、あてはまるものをすべて選び、具体的な内容等あれば空欄にお書きください。

- 現代的課題に対応したプログラム
- 保護者に提供できるプログラムに合った最新の資料
- 短時間に行えるプログラム
- その他(具体的に)→

■ 問6.貴校において、外部人材を活用して親学習プログラム・思春期版家庭教育支援プログラムを実施したことがありますか。

- 実施したことがある → 問7へ
- 実施したことがない → 問8へ

■ 問7.外部人材を活用している中で感じていることや考えについて、あてはまるものをすべて選び、具体的な内容等あれば空欄にお書きください。

- 保護者や学校、教員により効果が見られる
- 活動の雰囲気よくなる
- 教員の負担軽減につながる
- 外部人材との連絡調整に手間がかかる
- その他(具体的に)→

■ 問8.外部人材を活用していない理由について、あてはまるものすべてを選んでください。

- 外部人材を活用しなくても実施できる→進行役及び理由は？
- 外部人材を活用して実施できることを知らない
- 外部人材とどう連携すればよいか分からない
- その他(具体的に)→

■ 問9.活用したことがない理由について、あてはまるものすべてを選び、具体的な理由があれば空欄にお書きください。

- プログラムを知らない
- プログラムの活用法が分からない
- プログラムの活用場が分からない
- プログラムを活用する必要がない
- プログラムが活用しにくい
- その他(具体的に)→

昨年度の調査研究において、市町や公民館で思春期の子どもを持つ保護者を対象にした学習機会の提供が少ないことが明らかになりました。そこで、思春期の子どもを持つ保護者を対象にした学習の機会を提供する上で必要なことは何かを探るための参考にしたいので、次の質問にお答えください。

■ 問10.貴校において、保護者が子育てについて学ぶ機会を提供する(提供することになった)際、重視している(重視したい)点をすべて選び、具体的な内容等あれば空欄にお書きください。

- 保護者のニーズに合った学習内容の提供
- 教員が保護者に学んで欲しいと思う学習内容の提供
- 保護者が主体的に学べる参加型の学習機会の提供
- 講演形式の学習機会の提供
- 保護者の参加率を上げる方法(時期、場所等)
- その他(具体的に)→

■ 問11.その他、親学習プログラム・思春期版家庭教育支援プログラムについて、何か御意見等ありましたらお聞かせください。

■ 問12.最後に、あなたご自身のことについてお教えてください。

- (1) 所属校名
- (2) 回答者名
- (3) 職名  教頭     主幹教諭     教務主任     教諭(担任)  
 教諭(担任外)     その他(講師等)
- (4) 主な校務分掌  PTA     地域連携     その他

御協力ありがとうございました。回答が終わりましたら、上書き保存したデータをEメールに添付して御報告ください。



○親学習プログラムとは？

子どもの理解や、子どもへの接し方、親子のコミュニケーション等、子育てに必要な知識やスキルについて、保護者同士が身近なエピソードやワークを通して話し合いながら主体的に学ぶ、参加型の学習プログラムです。

ワークには決まった答えがあるわけではありません。無理に答えを出すこともありません。参加者同士が話し合いを進めていく中で、自分自身の問題に気づいたり、親としてのあり方や役割について考えたり整理したりするきっかけとすることがねらいです。

また、子育て中の人だけでなく、子育てが終わった人や、将来、親となる中学生や高校生も学習できるような内容になっています。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m06/education/shougai/suishinijigyou/oya-pro.html>

○思春期版家庭教育支援プログラムとは？

思春期の子どもを持つ保護者を対象とした家庭教育支援の充実を図るため、保護者にとって身近な中学校や高等学校、特別支援学校をステージに、PTA研修や保護者会などで活用できるプログラムとして開発されたものです。このプログラムには、進路や友人関係等に悩む思春期の子どもとの向き合い方や、多くの保護者が集まる機会に効果的に学習機会・交流機会を提供する方法等について紹介しています。<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m06/education/shougai/suishinijigyou/sishunki.html>